

まなびや

今の「福井県」ができるまで

2月7日はふるさとの日(明治14年誕生)

現在の福井県は、昔の越前国と若狭国からなっています。江戸時代には藩政が敷かれ、幕府直轄地と各藩の領地に分かれていました。明治政府になり初めは藩がありましたが、明治四年(一八七一年)に廃藩置県が行われました。その後、福井県(のち足羽県)と敦賀県が統合され、足羽県と敦賀県が統合され、明治九年に石川県と滋賀県に統合され、敦賀県は消滅しました。



私たちのふるさと福井は、緑豊かな越前の山並みと若狭

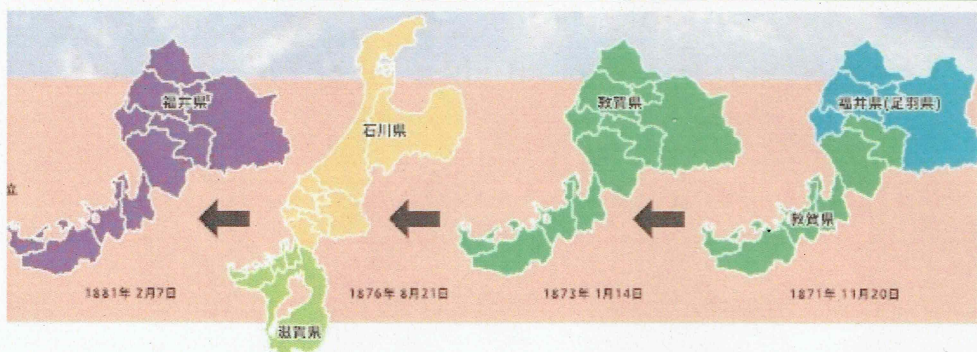
大野・丹生・今立・南条・敦賀・三方・遠敷・大飯郡が統合し、現在の福井県が誕生しました。▼参考「福井県史」

の変化に富んだ海岸線、そして美しい水に恵まれた県です。今の形の福井県が誕生したのは一八八一(明治十四)年二月七日。この日を「ふるさとの日」に指定し、県民に郷土について理解を深めていただき、明日のふるさと福井への思いを新たにするための日としています。▼昭和57年3月23日福井県条例1号

エッ!福井県が無かった?

M9.8.21~M14.2.6

年・月	市	町	村	計
明治21年	1888	0	248	1,742
明治22年*1	1889	1	9	168
昭和22年5月	1947	2	17	151
昭和28年10月	1953	4	18	128
昭和36年6月*2	1961	7	21	13
昭和46年9月	1971	7	22	6
平成18年3月*3	2006	9	8	0



- 明治の大合併*1
明治22年市制町村制施行に伴う町村合併
- 昭和の大合併*2
昭和28年・31年戦後の事務化、新制中学の設置管理調整など
- 平成の大合併*3
日常生活圏の広域化、地方分権の進展に要する行財政基盤強化